

バックアップデータを読み出す

バックアップデータ読み取りツール

LAN DISK Backup Reader2

LAN DISK 専用フォーマットの USB HDD をパソコンにつないでデータを読み出すことができるソフトウェアです。LAN DISK が起動しないなどの緊急事態に、USB HDD に保存されたバックアップデータを読み出すことができます。

●対応 OS

- ・Windows 11
- ・Windows 10 22H2 以降

ご注意

- 本ソフトウェアは、読み取り専用です。書き込みには対応していません。
- 本ソフトウェアを使用するためには、BIOS の仮想化設定が有効になっている必要があります。確認方法は[サポート Q&A](#) をご覧ください。
- 本ソフトウェアでは、WSL (Windows Subsystem for Linux) を使用します。WSL のバージョンが 2.3.24.0 未満の場合、最新バージョンにアップデートします。バージョンアップ時にはインターネット接続が必要となります。
※インストールは通常 5 分程度で完了しますが、ご利用の環境によっては 30 分ほどかかる場合があります。
- リモートデスクトップ接続には対応していません。

INDEX

インストールする	2
データを読み出す	4
エラーメッセージ一覧	5

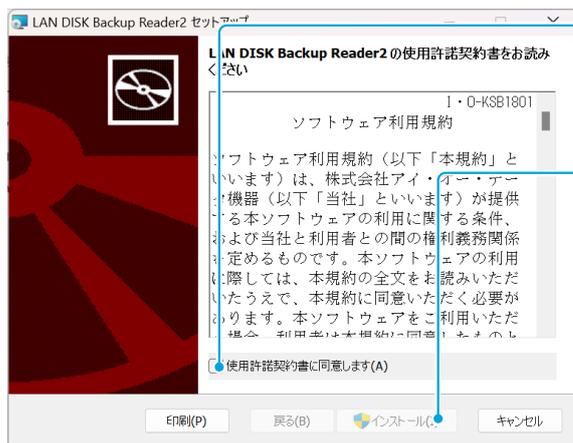
インストールする

ご注意

パソコン起動時に管理者アカウントでログインしてください。

1 ダウンロードしたインストーラーを起動する

2



①内容を確認しチェックをつける

②[インストール] をクリック

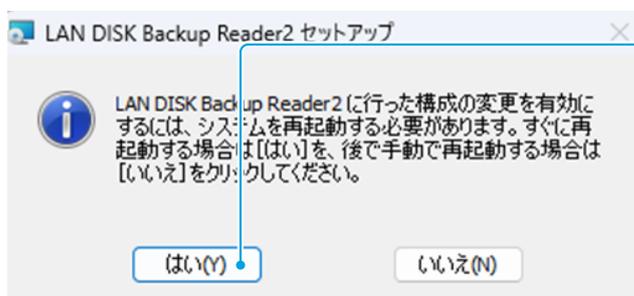
→インストールを開始します。

3



[完了] をクリック

4



[はい] をクリック

→パソコンが再起動します。
※再起動後に機能が有効になります。

再起動後、デスクトップ上に本ソフトウェアのショートカットが作成されます。
これでインストールは完了です。



ご注意

本ソフトウェアをインストールすると、[Linux] → [LAN_DISK_BR] という名前のフォルダーが作成されます。

このフォルダーと内部のファイルは削除しないでください。

削除してしまった場合は、本ソフトウェアをいったんアンインストールしてから、再度インストールしてください。

アンインストール方法

① Windows の [設定] → [アプリと機能] から本ソフトウェアを削除します。

② 削除が完了したら、Windows の検索バーに「Windows の機能の有効化または無効化」を入力し起動します。

※ [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] を開き、[Windows の機能の有効化または無効化] をクリックすることでも開くことができます。

③ [Linux 用 Windows サブシステム] と [仮想マシンプラットフォーム] のチェックを外して [OK] をクリックします。

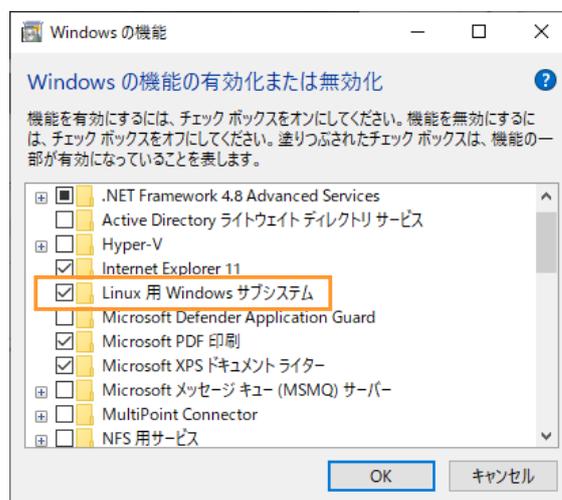
※環境によっては [仮想マシンプラットフォーム] が有効になっている場合があります。この場合は [Linux 用 Windows サブシステム] のチェックだけを外します。

④再起動を促す画面が表示されますが、[いいえ] をクリックします。

⑤ [設定] → [アプリ] → [インストールされているアプリ] をクリックし、下記がある場合は順にアンインストールします

- ・ Windows Subsystem for Linux Update
- ・ Windows Subsystem for Linux WSLg Preview
- ・ Linux 用 Windows サブシステム

⑥パソコンを再起動します。



以上で、アンインストールは完了です。

※アンインストール後、WSL や Linux が残ってしまう場合は、下記をおこなってください。

① Windows の管理者権限でログインした状態で、Windows ボタンをクリックし、表示されたメニューから [Windows PowerShell] → [管理者として実行] をクリック

② 下記のコマンドを入力する

```
wsl --uninstall
```

※ - (ハイフン) は 2 個入力してください。

③パソコンの再起動を求められた場合は、再起動する

データを読み出す

ご注意

パソコン起動時に本ソフトウェアをインストールした管理者アカウントでログインしてご利用ください。

※初回利用時とは異なるアカウントで利用する場合は、初回時に利用したアカウントから本ソフトウェアをアンインストールし、利用したいアカウントでパソコンを起動しインストールしてください。

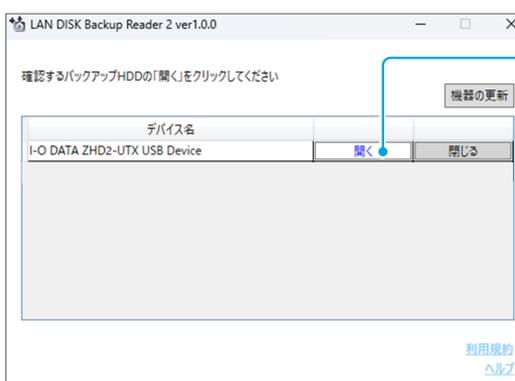
1 対象 USB HDD をパソコンにつなぐ

2 本ソフトウェアのショートカットアイコンをダブルクリック



※ WSL のバージョンアップの案内が表示された場合は、[はい] をクリックして、バージョンアップしてください。

3



対象 USB HDD の [開く] を
クリック

USB HDD が見つからない場合

USB HDD が見つからない場合は、[機器の更新] をクリックしてください。それでも見つからない場合は、下記をお試しください。

- USB HDD を取り外して再度接続し直す
- 接続する USB ポートを変更する

ご注意

USB HDD を取り外す場合、必ず事前に対象の USB HDD の [閉じる] をクリックしてください。閉じずに USB HDD を外してしまうと、データを破損するおそれがあります。

エクスプローラーが起動し、対象 USB HDD のファイルが表示されます。

[Linux] → [LAN_DISK_BR] → [mmt] → [wsl] の下に対象の USB HDD が表示されます。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	説明・対処
対象の機器に接続できません。ケーブルの状態や本体の電源など、再度確認し更新してみてください。	本ソフトウェア起動時、または更新時には接続されていた機器が、[開く] をクリックした際に見つかりませんでした。USB HDD の接続をご確認ください。
本ソフトウェアではサポートされていない形式です。Windows で接続できる形式です。	LAN DISK 専用フォーマット以外の形式でフォーマットされた USB HDD が接続されています。本ソフトウェアでは認識できません。
本ソフトウェアではサポートされていない形式です。接続できません。	LAN DISK 専用フォーマット以外の形式、かつ Windows で認識できない形式でフォーマットされた USB HDD が接続されています。本ソフトウェアおよび Windows では認識できません。
対象の機器が操作されているため解除できません。	対象の USB HDD の操作中です。しばらく待ってから [閉じる] 操作をおこなってください。
環境がうまく構築できていません。再起動や BIOS の仮想化の許可、ネットワーク接続等ご確認ください。	何らかの理由で本ソフトウェアを起動できません。再起動してお試しください。また、1 ページの「ご注意」をご覧ください。パソコンの環境をご確認ください。
ネットワークに接続できないため、アップデートに失敗しました。	アップデートするにはインターネットに接続している必要があります。パソコンのインターネット接続をご確認ください。
BIOS の仮想化設定が無効になっています。有効にしてください。ご不明な点がございましたら、マニュアルをご覧ください。	本ソフトウェアを使用するためには、BIOS の仮想化設定が有効になっている必要があります。確認方法は サポート Q&A をご覧ください。
別のユーザーで起動したデータが残っているため起動できません。元のユーザー利用していただくか、元のユーザーからアンインストールしていただき、利用したいアカウントで再インストールをお願いいたします。	パソコン起動時に本ソフトウェアをインストールした管理者アカウントでログインしてご利用ください。 ※初回利用時とは異なるアカウントで利用する場合は、初回時に利用したアカウントからで本ソフトウェアをアンインストールし、利用したいアカウントでパソコンを起動しインストールしてください。
エラーが発生しました。本ソフトウェアを再インストールしてください。	本ソフトウェアをアンインストールし、再度インストールしてください。
本ソフトウェアは管理者権限を持つユーザーでログインされた PC でご利用ください。	管理者権限のないアカウントからの起動、またはリモートデスクトップ経由で起動しています パソコン起動時に管理者権限のあるアカウントでログインして、本ソフトウェアを起動してください。